

医師の専門研修に関する協議について (第3回医師部会における主な意見)

資料 6 - 1

厚生労働省宛てに提出する医師の専門研修に関する意見書について、令和8年度第3回医師部会（令和8年7月25日（水）実施）にて議論

医師部会における主な委員意見

	委員の意見概要	意見書（案）対応項目
1	・ 専攻医が十分なトレーニングを受けられるかという観点で、制度の検証すべき。	1：研修の質向上
2	・ シーリングで専攻医が減ると、将来的には専門医を地域へ送れなくなる。	2：派遣への影響
3	・ 1人医師が抜けるだけでも救急医療や病院経営、残る医師の大きな負担となる。	2：診療体制への影響
4	・ 多摩地域など、東京都内でも医師確保が困難な地域があり、都全体を一律に扱うことには問題がある。	3：都道府県内地域差に留意
5	・ 地方側がこの制度によってどの程度恩恵を受けているのか、効果検証が必要。地方側の効果が乏しければ、制度は見直すべき。	7に反映
6	・ 専攻医の転居費用等について負担軽減策を見直すべき。専攻医本人への配慮が欠けている。	6に反映